



京都大学

設置期間 2021年4月1日～2029年3月31日

寄附者 一般社団法人アートをコアとしたコミュニケーションデザイン大学コンソーシアム

「アートとコミュニケーションデザインの知見を、あらゆる組織経営に応用する」



アート・コミュニケーションデザインと組織経営

教員

教授 松井 啓之
 特定准教授 蓮行
 特定助教 末長 英里子

アーティスト、実業家など、
 ゲスト講師数名を招聘予定

講座概要

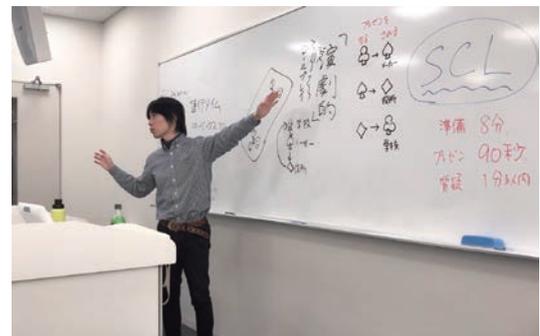
本講座は、あらゆる組織内でアートやコミュニケーションデザインの知見を活かすための方策について、教育・研究活動に取り組むことを目的とします。さまざまな組織が、チームとして創造性を発揮しイノベーションにつなげ、創造的で持続可能な組織経営を実現していく世界を目指しています。本講座の活動を通じて、受講者、ゲスト講師、企業や団体のネットワークを構築し、広く社会にアートとコミュニケーションデザインの知見を広げていくことも目標の一つです。研究活動としては、教育プログラム受講による学習者からのアウトプットの質変化に関する研究や、企業・自治体・非営利団体等の各セクターにおける実装に向けたプログラム開発の研究等に取り組むことを予定しています。

講義

◎身体表現芸術とコミュニケーションデザイン演習（前期）

◎アート・コミュニケーションデザイン実践演習（後期）

講義では、さまざまなアーティストや実業家を講師に迎え、アートやコミュニケーションデザインに関わるワークショップを実際に体験してもらいます。実体験を通じて得た知見をもとに、組織やチームで活かすための方策について議論します。受講生同士の相互作用を通じて、創造的に学びを構築できる講義とすることが目標です。



講座 ホームページ


<https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/accd/>



京都大学

設置期間 2021年4月1日～2029年3月31日

寄附者 一般社団法人アートをコアとしたコミュニケーションデザイン大学コンソーシアム

「アートとコミュニケーションデザインの知見を、あらゆる組織経営に応用する」



アート・コミュニケーションデザインと組織経営

教員紹介



松井 啓之 教授

専門分野

計画理論、意思決定支援、
ゲーミングシュミレーション

担当科目

情報システム・オペレーションズ、統計分析、
ビジネスリーダーワークショップ ほか

Message

理論や知識だけで、社会の問題を解決することは出来ません。しかし、理論や知識を持たずに問題を理解し、分析し、そして解決することも出来ません。基礎となる理論や知識を修得することが、問題解決能力を身に付ける近道です。



蓮行 特定准教授

専門分野

アート、演劇、コミュニケーションデザイン、
アクティブラーニング

Message

プロの舞台演劇の演出家として 30 年近いキャリアを積んでいます。演劇の知見は極めて有用で、古代から現代まで世界的に活用されています。日本ではマイナーな位置付けですが、VUCA の時代と呼ばれる現代において、演劇をはじめとするアートの知見には、一層注目が集まると予想します。当講座の研究・実践を通じて、演劇を社会に再インストールします。



末長 英里子 特定助教

専門分野

ワークショップデザイン、コミュニケーションデザイン、
演劇教育

Message

私自身は俳優や演出家というアーティストではありませんが、演劇を教育研修に応用する仕事に携わっています。演劇やアートの活動は、一見「遊び」のようにも見えますが、そこから得られる経験は貴重です。当講座の活動を通じて、演劇やアートの応用について実践と研究を深めていきます。